

事業番号	08 04 19	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	自給飼料増産対策事業				担当課	部局	農政部	
						課・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-3夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H21 ~		

1 事業の概要

目指す姿	輸入飼料に依存しすぎない畜産経営を目指し、自給飼料生産に意欲のある畜産農家に農地の集積を行い、栄養価の高い良質な自給飼料の増産を推進し、飼料高騰に負けない畜産経営を確立する。												
現状	○輸入飼料の高騰により、経営費に占める飼料費の割合が4割から6割に増大している。その中、配合飼料価格は史上最高値となり、経営をさらに圧迫している。 ○畜産物の販売価格は横ばいのため、飼料コストのアップが所得を減少させている。												
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 第2期長野県食と農業農村振興計画(自給飼料増産プロジェクト)											
事業内容	① 成果目標(H26) ○県オリジナル飼料作物モデルほ場の設置(県下4箇所) ○県オリジナル品種の作付(新規30ha) ○飼料稲作付け面積の拡大(20ha増加) ※ 自給飼料の作付目標面積 → H29目標:3,800ha												
	② 事業内容 (単位:千円)												
		項目	実施方法	H26実施内容		H25	H26						
						(当初)	(要求)	(予算案)					
		推進事業	直接	①自給飼料増産推進協議会の設置 ②モデルほ場の設置(4箇所) ③飼料づくりコーディネーターの設置		1,821	2,890						
	自給飼料分析	直接	自給飼料の分析装置の導入		9,548	0							
	スーパー放牧実証展示	直接	スーパー放牧(遊休荒廃農地への和牛雌牛の放牧)の実証		300	0							
			合計		11,669	2,890	0						
事業コスト	区	分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26要求	26予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越							項目	H25末(見込)	H26		H27目標
		当初予算	2,611	8,446	11,669	2,890			目標	成果	達成状況		
		補正予算											
		合計(A)	2,611	8,446	11,669	2,890	0						
	Aの財源	国庫支出金			4,678				モデルほ場の設置	0	4箇所		
		県債							県オリジナル品種の作付	0	新規30ha		
		その他(繰入金等)	639	6,448	689	1,289			飼料稲の作付面積拡大	—	20ha増加		
		一般財源	1,972	1,998	6,302	1,601	0						
	ト	決算額(B)	2,103										
概算人件費	職員数(人)	0.25	0.25	0.30	0.30								
	概算人件費(C)	2,065	2,065	2,477	2,477	0							
	概算事業費(B(A)+C)	4,168	2,065	14,146	5,367	0							
指摘事項等への対応		(指摘事項等)					(対応)						
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善													
要求からの主な変更点													